

下条小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・「知、徳、体の調和のとれた、豊かな人間性と活力に満ちた『下条っ子』の育成」を教育目標として、ESDを特色ある教育活動の柱と捉え、ESDの実践を通して計画を立てる力、多面的、総合的に考える力の育成を目標とした。
- ・家庭や地域との連携活動・食農教育等の充実を中心に、①地域防災について学ぶ活動、②地域の「ひと」「もの」「こと」に触れる活動、③栽培に関わる活動を行った。

・活動の実際

① 地域防災について学ぶ活動 (全校児童)

6月の校区防災訓練に全校児童が参加した。親子で各会場を回り、命を守る行動について学んだ。以前の大雨災害では、命の危険を感じて避難した家庭もあり、真剣に訓練に取り組む様子が見られた。

起震車体験では大きな地震の揺れを体感したり、煙体験では低い姿勢で壁づたいに移動することの大切さを学んだりした。また、避難所体験では、体育館に設営された間仕切りダンボールやプライベートテント、簡易トイレなどを見ながら、実際に被災したときには想像以上の不自由やストレスを感じるのではと、子どもたちなりに思いをめぐらせていた。

この体験を通して、さらに各家庭で防災への関心を高め、自分ができることは何か考えることができた。



体育館での避難所体験

② 校区の「ひと・もの・こと」に触れる活動 (3～6年児童)

総合的な学習の時間の一部の時間では、令和5年度から、学年の枠を取り除き、3年から6年の児童が各テーマに分かれて探究的な活動をするたて割り総合「えみなご総合」を実施している。今年度は「下条の『輪』を広げよう～みんななかよしいな町を目ざして～」をテーマに3つのグループがそれぞれの課題について探究的な学習に取り組んだ。地域のかたがたから下条の昔の話を聞いたり、地域のかたと一緒に校区のごみ拾いをしたりして、下条の輪を広げる活動を行った。この活動を通してさらに下条校区への愛着を深めることができた。



お年寄りとお話しようの会

③ 栽培に関わる活動 (全校児童)

毎年、学校内外の畑で野菜を栽培している。えみなごグループ(縦割り班)や学年ごとに夏野菜、冬野菜を栽培し、毎朝の水やりが子どもたちの日課になっている。5年生は地域農業ボランティアのかたからご指導いただき、学校近くの水田で米作りも行った。収穫した野菜は、学校行事等の日に弁当の材料として利用し、下条の実りを大切にしたいとの思いを高めることができた。



田植え